



あゆみ Letter

2019年『講演会特集』

《発行》NPO法人S・I・N 集いの場あゆみ

〒730-0813 広島市中区住吉町 10-2

正岡ビル102 Tel (082)567-5584

編集：松風 天耕（松末耕平）

講演会は大盛況！！

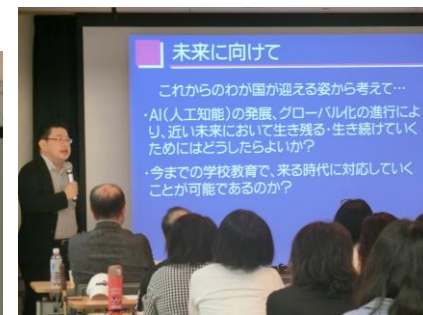
10月6日（日）にゆいぽーとで、エスアイエヌが主催した講演会が開かれました。きてくださったのは、鳥取短期大学の國本先生、文部科学省の井口さん、講座の仲間とその保護者、講座に来ていただいている先生方、総勢60名が集まりました。まず、Kさんがあゆみの活動を、写真を使って紹介しました。Kさんとは、養護学校時代からの長い付き合いで、「こいこいクラブ」から現在のあゆみにいたるまで、付き合いは続いています。

講演会 その1

文部科学省の井口さんの報告がありました。井口さんのお話は障害者の生涯を通じた多様な学習の充実についての話でした。取組は、学校から社会への移行期や、障害福祉サービスをつかった学びの場やオープンカレッジなどの勉強の場をもっと設けることだそうです。集いの場、あゆみも地域活動支援センターの障害者福祉サービス事業で、運営されています。採択団体実施主体別、障害種別で取り組んでいる団体はあゆみ（SIN）を含めて21団体あることが分かりました。これから各地域のプロック別に分かれて、発表や交流を予定しています。

講演会 その2

國本先生の講座は、学校の教育と、生涯学習の意味は、それは、延長線上にあるとおっしゃいました。鳥取でも生涯学習は行われていたとのこと。人工知能（AI）の発展や、未来に向けてのグローバル化の進行、今までの学校教育にどう対応していくか、障害の有無にかかわらず、共に学び、生きる社会が目的とされました。活動としては、スポーツや芸術、就労に向けての勉強をすること、そして、一人の仲間についても、話されました。その人は、仲間に入りたいのに、なかなか入ることが出来ず躊躇していたが、ひとつのきっかけさえ与えてあげれば、輪に入れるようになったとおっしゃっていました。終了後の昼食交流会では26名が集まり、食べた後、自己紹介をして、先生方に質問しました。



未来に向けて

- これからのわが国が迎える姿から考えて…
- ・AI(人工知能)の発展、グローバル化の進行により、近い未来において生き残る・生き続けていくためにはどうしたらよいか?
- ・今までの学校教育で、来る時代に対応していくことが可能であるのか?